

留 学 報 告 書

記入日：2015年7月3日

氏名	氏名：稲川裕樹
留学先国	中国(香港特別行政区)
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 香港城市大学 (英) City University of Hong Kong
留学期間	2014年9月～2015年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2015年5月9日
明治大学卒業予定年月	2016年3月

留学費用項目	現地通貨(\$HK)	円	備考
授業料	0	0円	学部間協定だったので、情報コミュニケーション学部にて例年と同じ額の授業料を納めていました。
宿舍費	21,000	323,918円	アパート4か月、学生寮4か月
食費	24,000	370,192円	
図書費	1,000	15,441円	
学用品費	2,000	30,883円	
教養娯楽費	2,000	30,883円	
被服費	2,000	30,883円	
医療費	0	0円	
保険費	6,279	97,650円	海外旅行保険
渡航旅費	3,000	46,325円	
雑費	1,000	15,441円	
その他(通信費)	2,400	37,060円	スマホ
その他(旅費)	7,000	108,749円	長期休暇中の旅行
その他()		円	
合計	71,679	1,107,424円	

渡航関連

渡航経路	日本→香港、香港→日本
渡航費用	チケットの種類 エコノミー 往路 約30000円 復路 23,255円 合計 約5万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Hong Kong Express	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
SemesterA,はアパート、semesterB から大学の寮	
部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：1人）
住居を探した方法	
アパートのHP	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
とにかく家賃が高いです。学生寮に早めにアプリケーションを出しましょう。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
僕は利用しませんでした、学生相談窓口やカウンセラーがいました。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
基本的に治安が良かったのでチェックしませんでした、旅行者用のガイドブックで十分な情報があると思います。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	
アパート、学校、街中やカフェ、地下鉄にも wifi 環境が整っておりとても快適でした。しかし、学生寮には Wi-Fi がありませんでした。	
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。	
現地に銀行口座を開設して、親に資金を送ってもらいました。	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
特にありません。日系のデパートやスーパーがとても充実しています。	
進路について	
進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：	
進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など	
マイナビ、明治大学キャリアセンター	

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

株式会社ローソン

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。
例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

留学によって就職活動に遅れが出るのは事実ですが、留学先からもエントリーや説明会の予約も出来るので特に支障はありませんでした。

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
24単位	<input checked="" type="checkbox"/> 15単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	COM2118 Media and Society
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester A 2014/2015 9月上旬～12月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Professor LEE Chin-Chuan
授業内容	メディアと社会について様々な理論(theory)に基づいて分析、考察する授業。ニュースやエンターテイメントといったメディアの社会、政治、文化における役割、組織などによるメディ

	アメッセージの発信、個人や集団にメディアが与える影響など幅広いテーマでメディアと社会の関係を見ていく。
試験・課題など	<p>毎回提出するような課題はないが、グループ単位のディベート、プレゼンテーションが各一回ずつ、個人レポート課題が2回 最終試験もあり</p> <p>Group debate: 10% Individual paper (1) on the debated issue: 15% Group project: 10% Individual paper (2) on media analysis: 15% Final exam: 50%</p>
感想を自由記入	<p>メディアに関する基本的、一般的な理論が学べるため、他の授業でも使えるような知識が身に付く。</p> <p>ディベートやプレゼンテーションで扱うトピックは香港のものが多いため、香港のメディア事情を勉強する事にも役立つ授業。</p> <p>しかし、扱っている教科書はアメリカのものなので具体例が理解し難いものが多いのが難点。</p> <p>テスト自体の難易度は高くないが、ディベートやプレゼンテーションは少なくとも1週間以上前からの準備が必要になる。</p>
履修した授業科目名（留学先大学言語）	COM2501 Internet communication
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester A 2014/2015 9月上旬～12月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Jeffrey Ho
授業内容	インターネットにおけるコミュニケーションの知識、技術を学ぶ授業。インターネットの歴史から始まり、その発展、影響力の分析、インターネットビジネスの仕組み等に触れた上で、ウェブサイトのデザイン、配置、管理の方法を学び、グループで実践する。
試験・課題など	<p>3回ほどの個人課題、中間テスト、最後にグループでウェブサイトをデザインし授業でプレゼンテーションをするタームプロジェクトがある。</p> <p>Attendance + class participation 5% Midterm test 20% Individual assignment 25% Term project 50%</p>

感想を自由記入	個人課題は、Wikipedia の編集、ネットビジネスの企業の SWOT 分析、ネットビジネスのビジネスモデルの作成等、非常に実践的でした。最終課題もグループで動物愛護団体のウェブサイトのデザインをし、授業で学んだ事をほぼすべて実践し、形にしたような授業でした。しかし、やっている内容自体の難易度は高くないため、授業内容が分からなくなることはなかったです。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	COM3107 Fundamentals of Persuasive communication
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester A 2014/2015 9月上旬～12月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Dr. Stella Chia
授業内容	説得コミュニケーションの基礎理論の授業。どのような言葉、メディアの使い方が説得力があるのか、また、人々はどのようにしてそれらに影響を受けるのか、受けているのか、PR、広告、政治にそれらがどう使われているのかなどが学べる。
試験・課題など	グループプレゼンテーション一回、クイズが3回、グループプロジェクトが一つ。グループプロジェクトは授業開始2週目から始まり、ほぼ毎週プロジェクトに関する課題やレポートが出る。最後にはグループプレゼンテーションとは別に、プロジェクトの成果を発表するプレゼンをする。最終試験はない。 <ul style="list-style-type: none"> • Attendance + Participation 10% • Assignment 1: Class presentation 15% • Assignment 2: Quizzes 40% • Assignment 3: Proposals + Online persuasive message + Oral presentation 35%
感想を自由記入	一番忙しい授業でしたが、一番学びが多い授業でもありました。学ぶ理論は自分の日々の生活や勉強、普段見ているメディアに結び付けやすいものが多く、学んでいてとても楽しかったです。そして、毎回授業後にその日に学んだ理論やテクニックを最終課題に反映させ、実践することで理論がしっかりと自分で使える知識に変得ることが出来ました。プロジェクトの内容はグループごとに違うものが与えられるのですが、僕のグループは「香港の親達にこれ以上間違った教育をしないように説得的なメッセージを送る」というもので、実際にフェイスブックページを運営し、ロゴ、ビデオクリップ、ポスター、新記事をアップロードしたりと盛りだくさんでしたが、その分メンバーとも仲良くなる事が出来てよかつ

	たです。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	GE2109 Love, Sex, and Relationship: Psychological Perspectives
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester A 2014/2015 9月上旬～12月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	TAM Hau-lin, Cherry, Ph.D. (譚巧蓮)
授業内容	恋愛、結婚などを心理学の切り口で学ぶ授業。恋愛や結婚、男女関係に関する心理学的理論やその文化的違いをレクチャーを通じて学びながら、授業中何回も教授、生徒でディスカッションを重ねていく
試験・課題など	二度のレポート提出と最終試験以外には特に課題はない。レポートは各グループ毎にリサーチクエスチョンを設定し、その疑問に沿ってリサーチ（統計）を実施し、そのデータ分析、解釈する。 Love project - Progress report 20% Love project - Final report 40% Examination 40%
感想を自由記入	自分が恋愛等に関して感じていることや経験したことが心理学的に説明されており、すごく興味深い授業でした。ディスカッションではたまに突っ込んだ内容を議論することもあり少し恥ずかしかったのですが、香港やその他の地域の人たちの恋愛観や考え方を知ることが出来て、驚きも多く楽しかったです。 しかし、半分以上の生徒が遅刻や欠席を繰り返しており、あまり雰囲気は良くなかったです。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	CAH2957 Mandarin for Non-Chinese Speakers II
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester B 2014/2015 1月上旬～4月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	1単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Dr. Sissi Hui Wu

授業内容	ノンネイティブのための中国語中級クラス。教科書に沿って、文法、単語、発音練習、会話練習をする。
試験・課題など	書き取り、単語の課題が毎回出る。そして2回のテストは聞き取り、読み書きだけだが、最終試験はそれに加えて会話試験がある。 Homework (12 times) 20% Classparticipation 10% Quizzes* (twice) 40% Finaltest(written part—80%,oral part—20%) 30%
感想を自由記入	英語で中国語を学ぶということで、少し大変な面もありましたが、逆に同時に二つの言語の勉強になったので良かったかもしれません。会話練習が中心で、普段の生活で困った時に使える中国が学べました。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	COM2103 Communication Research Methods
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester B 2014/2015 1月上旬～4月下旬(13週間)
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Dr. Stella Chia
授業内容	リサーチメソッド(統計)の基礎知識、スキルの習得が出来る授業。授業ではリサーチスキル、コミュニケーションリサーチの方法や社会における役割を学んだ後、実際に量的調査をグループごとに行う。量的調査をするために、SPSS という統計ソフトを使うためのトレーニングもある。
試験・課題など	3回の不定期テストと最終試験、グループプロジェクトがある。テストは日程が知らされず、ランダムに行われる。グループプロジェクトは各グループごとにリサーチする企業が割り当てられ、量的調査によって得たデータを使って、企業の課題を解決したり、新たな提案をする。 <ul style="list-style-type: none"> • Attendance + Participation 10% • Quizzes 10% • Group assignments 45% • Final Exam 35%

感想を自由記入	統計学の知識が深めることが出来ました。統計に関する知識で、自分で統計が出来るだけでなく、データをどう読むのか、数字が持つ意味は何なのかということが理解できるようになったので、充実した授業だったと思います。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	COM3117 Media, Communication and Public Opinion
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester B 2014/2015 1月上旬～4月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Dr. LIN Wan-Ying
授業内容	メディア、コミュニケーションとパブリック(社会)の関係を統計学的視点から分析、批評、解釈していく授業。また、分析や解釈において、メディアに関する理論も学ぶことが出来る。リサーチを実施するためのスキルや知識を実際にメディアとコミュニケーションに関するリサーチプロジェクトを行う過程で実践する。
試験・課題など	基本的に毎週の課題は出ないが、中間試験、最終試験がある。学期末のグループプロジェクトに向けてグループまたはクラス単位で課題が出ることがある。リサーチを完成させるために、配布された50記事ほど新聞記事を読み、コードブックに分析を書き込むなど量は多め。最後にはグループごとにリサーチ結果のプレゼンテーションをする。 <ul style="list-style-type: none"> • Class participation/research credit 10% • Midterm/final quizzes 50% • Group project presentation 40%
感想を自由記入	メディアやコミュニケーションの理論が体系的に整理されていた上に、統計のスキルも磨けました。最終課題では、クラス全体で香港の学生運動の調査、統計を行い、学生運動の流れ、メディアが与える影響、香港、中国メディアの関係などが深いレベルで勉強できる良い授業でした。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	COM4403 Communication Management
履修した授業科目名（日本語）	
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Department of Media and Communication
履修期間	Semester B 2014/2015 1月上旬～4月下旬（13週間）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式

授業時間数	1週間に170分が1回
担当教員	Sonia K. Yeung
授業内容	コミュニケーションのマネジメント方法についての授業。主に集団、組織内でのマネージャーのコミュニケーションマネジメントや、役割、影響についての知識を深めることができる。授業では、組織内のコミュニケーションをマネジメントするための理論、方法論に加え、毎回ケーススタディを通してそれらを実践に移すための知識や具体的な施策を身に付けることができる。
試験・課題など	グループ毎に一回、ケーススタディに基づいたレポートとプレゼンテーションをする。試験は二回ある。グループレポートは3000字のレポートと最終授業でのプレゼンテーションを行う。このグループレポートでは、グループが各自、コミュニケーションマネジメントに改善の余地があると思う企業を自由に選び、その問題解決のプロセスとマネジメント方法を提案するというもの。 In-class activities 10% Course work: case study 15% Group Report 35% Quiz x 2 40%
感想を自由記入	

留学に関するタイムチャート

2014年 1月～3月	2013年11月 TOEFL iBT 受験、選考 2013年12月 選考通過 2014年2月 TOEIC 受験
4月～7月	4、6月 TOEIC 受験 7月 留学先大学から認可される
8月～9月	8月中旬 香港のアパートと契約、授業選択 8月下旬 出国 9月～ 授業開始
10月～12月	10月中旬 中間テスト 12月下旬 期末試験、冬期休暇

2015年 1月～3月	1月中旬～授業開始 2月中旬 中間テスト 2月下旬 ルナ ニューイヤー（7連休）
4月～7月	4月上旬 イースターブレイク（7連休） 4月下旬 期末テスト 5月上旬 帰国、帰国届、単位認定願提出
8月～9月	8月上旬～中旬就職活動（試験、面接等） 8月下旬 内定
10月～12月	
2016年 1月～3月	3月卒業見込み

留学体験記

留学しようと決めた理由	何気なく参加した短期留学がきっかけに、英語がもっと使えるようになりたいと思ったからです。一年生のころから東進ビジネススクールという英語の塾に通い、TOEICの勉強はしていたのですが、やはり英語で自分の意見を述べたり、書いたりすることは出来ないままで、英語が楽しいとは感じていませんでした。しかし、二年生の時に学部の短期留学でアメリカのメンフィスに行った時に、拙いながらもコミュニケーションが取れたことに感動し、何よりも楽しいと思いました。それからは、自分の考えていることを相手にしっかりと伝えられるようになる、つまり使える英語を身に着けたいと思うようになり、長期留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学の勉強は早いうちから準備するべきだと思います。僕の場合は2年生の夏ごろから本格的に勉強を始めたのですが、やはり選考の直前までTOEFLの点数が足りていなくて苦労しました。語学の準備は早ければ早いほど良いと思います。留学先ではレポートを書いたりプレゼンテーションをする機会が多いので、特に高校までの授業やTOEICなどではあまり使わない「書く」力、「話す」力を伸ばしておくことをお勧めします。しておけば良かった準備としては、中国語や広東語の勉強道具を日本から持ってくることです。現地の言葉を覚えたくなくても、なかなか日本人向けの教材が手に入らなかったなので始めるまでに時間がかかってしまいました。

この留学先を選んだ理由	<p>学部間協定校だったからです。情報コミュニケーション学部で学んだ内容をさらに深めることが出来る為、ただの語学習得に留まらず、しっかりと勉強できるのは大きな理由です。学部間の協定プログラムということで、留学先で撮った単位を明治大学に送ることが出来るため、4年で卒業することが出来るというのも魅力的でした。</p> <p>また、純粋に香港という地域に興味があったからです。西洋とアジアの文化が入り混じった特別な場所で、アジア経済の中心地でもある香港という都市を自分の目で見てみたかったことや、カンフー映画のロケ地にも行ってみたいと思ったので香港城市大学を選びました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>大学は都会的な雰囲気でした。高級ショッピングモールに併設していたり、九龍半島のほぼ中心部という立地も便利で良かったです。キャンパス内も常に活気があって、ソサエティー（日本のサークルのようなもの）やイベントの勧誘などが頻繁に行われていて、いつも賑やかな印象です。ただ、どこに行っても人が多く、人口密度が高いのが難点でしたが(笑)。学生の雰囲気としては、日本よりもはるかに国際色豊かで授業でもグループを組めば、3人に一人が留学生になるほどでした。香港の学生たちも決して留学生たちに関鎖的になることはなく、オープンで友好的な学生が多かったです。</p>
寮の雰囲気	<p>寮では、学生によってイベントやワークショップが頻繁に開かれていて、交流が多く友人を作りやすい環境でした。スポーツイベント、ゲーム大会、街での食事会など盛りだくさんで楽しかったです。僕自身も一回友人たちと一緒に日本食のワークショップを開いたことで、交友関係も広がり寮での生活はとても充実したものになりました。また、寮の一階にはパソコンとプリンター、キオスク、ランドリーもあり、とても便利で過ごしやすかったのを覚えています。</p>
交友関係	<p>最初は生活環境が大きく変わって忙しかったことや、自分から話しかけることに抵抗があったりして苦労していたのですが、大学や留学生コミュニティ、寮主催の交流イベントがたくさんあり、自然と仲良くなることが出来ました。また、授業ではグループを組むことが多く、そのグループでプロジェクトを進めていくうちに仲良くなり、休日にみんなで出かけたり、スポーツをしたりしました。特定のサークルには属していませんでしたが、登山やバドミントン、卓球のFacebook や whatsapp (LINEのようなもの) のグループに入っていたので、常に新しい友人関係を広げられたのが非常に楽しかったです。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>大変だったことは、住む場所を確保することです。香港はとにかく家賃が高いため、何が何でも学生寮に住むぞという気持ちで申請をしたほうがよいと思います。</p> <p>というのも、僕は一学期目は寮へ申し込みをしていたのですが、抽選で落ちてしまい自分で住む場所を探さなくてはならずかなり大変でした。探すのも契約するのも英語を使うので、細かいニュアンスを伝えるのが難しいうえに、香港城市大学も住む場所を探したり、ルームメイトのマッチングを行うサービスを提供してくれているのですが、反応が遅く、ほぼ自力で探すことになりました。</p> <p>香港につく前に住む場所を確保したかったため、一度も物件を見ることのないまま契約をした結果、思ったよりも大学から遠く、一回引っ越しをすることになりました。</p>

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>僕は、メディアとコミュニケーションについての勉強をしました。授業自体にはついてゆくことが出来たのですが、ほとんどの授業でグループプロジェクトがありミーティングやディスカッションをする機会が多く大変でした。外国人である僕が静かにしていると、彼らは広東語や中国語で話し始めてしまい、議論に参加することが出来ずにミーティングが終わり、「プロジェクトに全然貢献できていないな」と葛藤することもありました。しかし積極的に英語で議論をリードすれば、みんなも英語で議論してくれるとわかって実践してからは、勉強もプロジェクトも捗りました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題は多くなかったのですが、テストやグループプロジェクトが大変でした。テストに関しては、暗記というよりも学んだ理論がどういったものなのか、どのように使えるのかということを理解していないと解けない問題が多く、テスト勉強よりも授業中に教授の話をしっかりと理解することの方が重要でした。グループプロジェクトは、授業で学んだ事を実践するというものが多く、メンバーでもう一回理解を深めてからプロジェクトに取りかかるので、知識をしっかりと身に付けることが出来て良かったが、その分集まる回数も多く、プロジェクトの締め切り前はいつも忙しかったです。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>個人的にお笑いが好きだったので、香港の中心街にあるコメディハウスに通っていました。香港にいる様々な国籍のコメディアンによる英語のスタンドアップコメディをたくさん堪能することが出来て幸せでした。日本のお笑いとは違い、オーディエンスの参加も多く、本当に楽しむことが出来ました。10月には Hong Kong international Comedy Festival という大会も友人たちと観客として参加し、最高のエンターテイメント体験でした。オープンマイクといって、素人がスタンドアップコメディに参加できる機会があったのですが、僕も何度かチャレンジしました。すべて落ち込むこともありましたが、ウケた時は自分が英語で様々な国籍の人たちを笑わせてると思うと興奮が止まりませんでした。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>迷っているなら、チャレンジしたほうが良いと思います。お金や就活の問題など、やらなくていい理由はたくさん挙げることが出来ますが、時間は待ってくれません。自分のゴールを見据えてチャレンジするなら、それは決して無駄にはならないし、大きな成長に繋がります。たくさんの失敗や苦難にぶつかることにはなりますが、チャレンジした分、得られるものも、喜びも大きいです。留学をすると決意したら、自分なりの目標をもって、なおかつ「楽しく」頑張ってもらいたいと思います。</p>

留学中の様子

